

5/31東京開催「メコン地域セミナー」

「メコン地域進出の日系企業／経営課題と戦略の方向性（タイ、ベトナム、ミャンマー）」

開催日時	2019年5月31日(金) 14:00～17:00(開場 13:30) ミャンマーに関しては、15:40～16:15を予定
会場	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(東京) 24階セミナー室(裏面参照)
定員	30名
主催・共催	(主催)三菱UFJリサーチ&コンサルティング (共催)Myanmar Survey Research Co., Ltd.

セミナーの概要

- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(MURC)が主催する「メコン地域セミナー」にて、弊社MSRが共催企業として、ミャンマーにおける直近の現地におけるビジネス環境の情勢や政治に関して講演いたします。
- メコン地域では、「中進国の罌」からの転換を志向するタイにおけるビジネスモデルの転換、2020年に選挙を控え、投資環境の動向が気になるミャンマー、1億人の市場を背景に内需市場としても生産拠点としても注目を集めるベトナム、それぞれにおけるビジネスの最前線で活動するMURCのマネージングメンバーやコンサルタントが最新のケーススタディおよびアセアン拠点の戦略的位置づけの方向性につき講演いたします。

当日のプログラム予定

開始時間	内容	講師
14:00	第1部「メコン地域における日系企業の課題と方向性」 ～過渡期のASEAN事業の再構築にむけて～	MU Research and Consulting (Thailand) Co., Ltd. マネージングディレクター 池上 一希
14:45	第2部「タイの税務と外資規制の概要」	MU Research and Consulting (Thailand) Co., Ltd. アドバイザー 藍原 滋
休憩 (10分間)		
15:40	第3部「ミャンマーの政治・経済動向と日系企業動向」 ～2020年総選挙に向けた展望と今後の方向性～	Myanmar Survey Research Co., Ltd. Dr. San Tun Aung (Vice President) 瀧波 栄一郎 (Director)
16:20	第4部「ベトナム経済動向および日系企業動向」 ～タイ+1の最有力市場としてのベトナム～	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 ホーチミン駐在員事務所長 田内 恒治
17:00	第5部 パネルディスカッション ～ASEANにおける日系企業事例ケーススタディ～	三菱UFJリサーチ&コンサルティング国際業務支援BU グローバルコンサルティング室室長 島村 哲生 並びに上記講師

プロフィール(ミャンマー関連)

Myanmar Survey Research Co., Ltd.

Vice President(副社長)

Dr. San Tun Aung

Myanmar Times、ミャンマー赤十字のInformation Officer、国連Habitatオフィサーなどの要職を歴任後、現在はMSR副社長を務める。77年にヤンゴン大学(数学科)卒業、IUJにて修士号を取得。ハワイ大学マノアにて社会学博士号を取得
父親が日本のミャンマー大使館の書記官として勤めていた関係で幼少期を東京都目黒区で過ごす。日本語、英語にも堪能



Myanmar Survey Research Co., Ltd.

ディレクター

瀧波 栄一郎

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(MURC)、デロイトトーマツ コンサルティング(DTC)にて一貫して、海外進出支援を専門とするチームで、通算5年間以上、大手日系企業の海外進出案件に従事。
専門は海外事業立案、パートナーリング選定支援など
2018年より現職。



お申し込み方法

お申し込みURL

※セミナー主催の三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)の専用サイトよりお願い致します。

https://www.murc.jp/seminar/t_190531/

お申し込み期限

5月24日(金)

ミャンマーでのお問い合わせ先

Myanmar Survey Research Co., Ltd. ジャパンデスク

受付担当: 瀧波 Tel:09-459-188-316 e-mail: takinami@myanmarsurveyresearch.com

会場

MURC (東京) <セミナー室>

オランダヒルズ森タワー 24階

東京都港区虎ノ門5-11-2

【アクセス】

- 東京メトロ日比谷線神谷町駅①番出口
東京タワー方面へ徒歩3分

詳細・日本でのお問い合わせ先

詳細は主催団体である三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)のホームページをご覧ください。

https://www.murc.jp/seminar/t_190531/